

リフレスの正しい使い方 とその読み方



*リフレス、Refres は、アドニス電機の商標です。

リフレス値(*) とその読み方

測定値は、リフレス特有のモノサシ、「リフレス値」で表します。リフレス値は、0～100 段階表示で、口腔ケア、口臭治療などの臨床所見の「^{サポート}支援情報」として活用されています。

口腔リフレス値 (OR 値、Oral Refres Value)

口腔ケア、歯科治療の指標として有用です。正常 OR 値は、30 - 40 で、OR 値が低いほど細菌数(活動度)が低く、口腔内が清浄であることを示します。これが高くなりますとどこかに細菌増殖の要因が考えられ、口腔内ケア、歯科治療の必要が考えられます。

呼気リフレス値 (BR 値、Breath Refres Value)

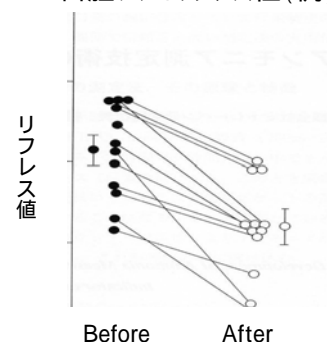
主に腸内細菌の活動度を示します。正常 BR 値(空腹時)は、30 - 40 ですが、これは飲食、喫煙後に大きく影響され高値を示します。

一般に、BR 値は一日の変動は大きく空腹時に低く、食後 2 時間後から高くなるという「日内変動」があり、頃合いに変化するのが正常な消化管活動であると考えられています。しかし、BR 値がいつも低いときは消化管活動が低下している(便秘?) また、いつも BR 値が高い場合は腸内の異常発酵、悪臭ガス産生、軟便、下痢気味などが考えられ、食物繊維や乳酸菌飲料などによる調整が必要でしょう。

リフレスにはこんな活用方法があります

1. 口腔ケアの指標として: プラークコントロール、歯垢除去、歯周治療など口腔内の清掃の効果を示すインディケータとして、処置後にリフレス値が低下します。(右図)
2. 口腔ケア剤の効果の評価指標として:
洗口剤、歯磨剤などの製品開発に活用されました。
3. 呼気ガス測定が活かされた例: 口臭患者で、呼気ガス値が高いので、腸内異常を疑い乳酸菌摂取を薦めた、その結果リフレス値が正常域となるとともに、患者の悩みが解消した。
4. 自己臭症で有用であった例: リフレスの無臭ガス検出能が効果的でした。(文献参照)
5. ペットの口臭評価にも使用されています: 最近、増えているのがペットの口臭・・・動物病院での口臭の消臭剤の開発評価に活用されています。

口腔ケアとリフレス値(例)



リフレスの使い方

リフレスによる測定は、つぎの二つの方法があります。
被験者の状況に合わせて測定してください。



1. 一般計測モード

口腔内ガス測定の場合：

1. センサ・プローブにマウスピースを取り付け、測定の前準備をします。
2. 一般計測開始ボタン **START** (青色) を押します。このとき、同時に口は閉じてください。(30秒)
3. ランプ **WAIT** が点滅し、表示が 30 29 28 とカウントダウンし、3-2-1 でブザーがピーピーピーと鳴ります。すばやくプローブ(マウスピース)を口腔に入れ、歯で軽く噛むようにして息はとめます。
4. ランプ **MEASURE** が点滅し、表示が 20 19 18 とカウントダウンしブザーがピピピピッと鳴ります。表示が 13-でブザーがピーと鳴るまではプローブ(マウスピース)は、そのまま保持します。それが通過すればプローブ(マウスピース)を口腔から外します。
5. カウントダウンが-0になると測定処理が終わり、結果が表示されると共にプリントされます。

呼気ガス測定の場合：

1. センサ・プローブにマウスピースを取り付け測定の前準備をします
2. 一般計測開始ボタン **START** (青色) を押します。
3. ランプ **WAIT** が点滅し、表示が 30 29 28 とカウントダウンし 16 で、息を吸ってそのまま息こらえて、3-2-1 でブザーがピーピーピーと鳴ったら、プローブ(マウスピース)口腔に入れ、歯で軽く噛むようにして、息を吐き出します。
4. ランプ **MEASURE** が点滅し、表示が 20 19 18 とカウントダウンしブザーがピピピピッと鳴ります。表示が 13-でブザーがピーと鳴るまではマウスピースを口腔から出さないでください。
5. カウントダウンが-0になると測定処理が終わり、測定値が表示されると共にプリントされます。

2. 口腔精査計測モード

1. 計測開始ボタン **TIMERSTART** (黄色) は、口腔内精査測定(3分 = 180)として使用してください。
(この場合、ペースト無しのブラッシングで洗口ののちに測ることをお奨めします。)
2. 計測開始ボタン **TIMERSTART** (黄色) を押し、(洗口後)口をとじて鼻呼吸で過します。
180よりカウントダウンして、3-2-1 でブザーがピーピーピーと鳴ります。このタイミングに、すばやくプローブ(マウスピース)を口腔に入れ、計ります。
3. 以後は一般計測モード「口腔内ガス測定」に順じて行ないます。

* 知的財産権 (2 件)

- 1) 特許 第4046222号(口臭の測定方法及び装置) 2) 特願2005-04617(口臭測定装置及び口臭測定方法)

参考資料

- 1) 清水順一ほか：耳鼻咽喉科領域における、においガス測定とその意義 特に、自臭症診療に有用なガス測定器について、口鼻臭臨床研究会記録集 No.2、34-40、2008
- 2) 久保伸夫ほか：自臭症診療に有用な無臭ガス測定、アポロニア21、2008(9):76-79

学術・技術に関するお問合せ、ご連絡先
株式会社アドニス電機 お客様サービス係
電話：072-893-3311

商品に関するお問合せは、